

賀正

大雪清流 てっぺんだより

JA Higashikawa Public relations magazine Daisetsu Seiryu Teppen Dayori

6 農協・農事組合懇談会
ご意見と回答

9 トピックス

10 東野ひでき北海道後援会の
活動経過

11 人間ドックを受診しましょう! 12 来月のカレンダー

特集

新年のご挨拶



みずと
くらす。
JAひがしかわ

1

2025

vol.617

令和7年の年頭ご挨拶

東川町農業協同組合
代表理事組合長
まき きよたか
牧 清隆



令和7年という新しい年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。組合員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。旧年中は、当組合の事業運営に対し特段なる深いご理解とご協力を賜り、役員一同、厚く御礼申し上げます。昨年の営農を振り返りますと、春先は寒暖差の激しい日々が続いたものの6月以降は天気も回復し、平均気温は平年よりかなり高く推移しましたが幸い大きな災害もなく、高温条件下でも安定した収量と品質の農産物を収穫することができました。加えて、コスト上昇分の価格転嫁への反映や全国的な在庫不足による「令和の米騒動」、端境期の拡大による野菜供給量の減少などにより、米概算金や野菜取引価格は上昇できたことで厳しかった経営環境を乗り越えることができました。

特に水稲は、消費者の買いだめが急激に広がりが薄状態が続く中、商系業者による庭先売買が横行し、「ゆめぴりか」を中心に横流れが見られましたが、最終的な集荷実績は等級品出荷対比100%（ゆめぴりか97%、ななつほし103%）、特定米穀・屑米を含めたJA契約対比は105%までとなり、組合員の皆様が長年にわたって築き上げてきた「東川米」ブランド価値

の維持と、JA結集に努めていただきましたことに改めて感謝申し上げます。

今年は、農政の憲法といわれる「食料・農業・農村基本法」が25年ぶりに改正されました。改正内容を確かめると、この四半世紀で変化してきた生産現場の現状や国内外の経済状況、地球温暖化の影響とそれに伴う環境保護意識の高まり、国際情勢の不安定化に伴う食料安全保障などを反映したものとなっています。

国は、農業・農村をどの様な方向に維持・発展させたいと考えているのかを、組合員や役員はもちろぬ地域住民の方々にもご理解していただきながら、これからも高品質で安定的な量の「東川米」「ひがしかわサラダ」を供給し続けなければならないと思います。

当組合でも昨年4月に新たな中期3か年の「第17次農業振興計画」「第19次JA中期経営計画」をスタートさせ、基本目標を「魅力あふれる産地づくり」と持続可能な東川農業の実現と総合事業をより良い地域社会を実現させるために「食と農を起点とする地域活性化」の実現に向け全力で行動しております。

特に令和5年9月より着工された「ひがしかわライスターミナル」建設では、第一期工事の「機能性精米工場」が昨年6月に竣工し、新たなJAブランドとなる「最上級特撰東川米」「健康ひがしかわ米」など精米商品の開発と国内外での拡販のもと、多くの消費者にご好評をいただいております。

第二期工事の「米穀乾燥調製貯蔵施設」では、昨年7月に建築承認許可を受け同月より着工、本年8月の完成に向けて安全施工に努めてまいります。

本年秋季よりライスターミナルがいよいよ稼働します。コスト削減と利便性の向上や、東川米の生産拡大と農業所得の増大のもと持続可能な農業経営の推進に加え、世界の食料安全保障にも貢献したいと考えています。

また、昨年は第31回JA北海道大会が開催され、「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立」、「JAの組織基盤の強化と健全な経営基盤の確立」、「アグリアクション北海道の推進による農業・食・JAへの理解醸成」の3つの議案を決議いたしました。今後、議案の達成に向けて、組合員・JA・連合会が一元となって、生産現場の行動変容と組合員の意思結集による農政運動、JAの経営管理の高度化やデジタル化の推進による業務効率化・生産性向上に取り組みなければなりません。さらに、消費者の皆様には、JAグループ北海道統一の情報発信のフレイズである「アグリアクション北海道」を浸透させるとともに、効果的な情報発信により、今まで以上に農業・食・JAに対する理解を深めていただき、JAグループが提唱する「国産消費」の認知を広めてまいります。

令和7年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会
代表理事会長
たらい いさお
樽井 功



新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対し、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業については、春先から天候に恵まれ、各作物の生育は全般的に平年よりも早く進んでおりました。しかしながら、夏場は猛暑・豪雨による記録的な高温多湿の影響を受け、各作物等の収量および品質に影響が出た年となりました。

近年、気候変動等による自然災害の多発や栽培適地の変化、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが農業経営に甚大な影響を与えており、農業・農村を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。

昨年には、四半世紀ぶりに食料・農業・農村基本法が改正され、現状に即した基本理念の見直しと、「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」等の実現が盛り込まれました。政府は、初動5年間を農業構造転換集中対策期間と位置づけ、施策を集中的

結びになります。本年は巳年です。巳（へび）は冬眠から目覚め地上に這い出すことから、冬に根をはった草木が芽を出し「新しい種子が生まれる」という意味があると言われ、転じて「巳年は力を蓄えていたものが芽を出す」「起点」の年、脱皮する特性と併せ「再生と誕生」を意味する年だと言われています。

この謂われにあやかり、本年が北海道農業の

また、農業のグリーン化に必要な堆肥の製造・保管や、ライスターミナルから排出される糞穀の集積場として、昨年12月に「地域バイオマス資源循環加工施設」が完成しました。これからは堆肥投入による健全な土づくりの励みや土壌改良剤、糞穀固形燃料としての活用など、環境に配慮してより安全で安心な農産物の生産や、くらしの支援を推奨していきます。

組合員の皆様におかれましては、引き続き「第17次農業振興計画」「第19次JA中期経営計画」の着実な推進を賜りたいと存じます。昨年、JAひがしかわ女性部創立70周年、東川町蔬菜園芸研究会創立50周年を迎えられ、それぞれ記念式典が盛大に執り行われました。この永き年月は正にJAと共に歩んできた歴史であり、女性農業者ならびに野菜生産者の皆様の地まぬ努力と、先輩方より積み重ねてきた苦勞の賜物であります。改めて敬意を表すとともに、当地での更なるご発展を期待し両団体のご隆盛をお祈りいたします。

本年夏には、農業者・JAの結束力や発信力が試される参院選比例代表選挙が行われます。稲作複合経営者で北海道指導農業者でもあり、JA道北なよろ会長理事であります東野秀樹氏が全国JAグループの組織内候補に擁立され、その支持拡大に全力を挙げて取り組んでいきます。

今回の比例代表は、私たち一人ひとりの声を結集させ、国政の場で上川管内の農業・農村の未来を切り拓けるかは、農業者自らの力にかかっていていると思います。ぜひとも東野秀樹氏を応援してください。皆さんの輪を広げていただけますよう、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

結びになりますが、今年も天候に恵まれ、災害もなく、豊穣の秋を迎える事が出来ますよう、併せて組合員とご家族の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

飛躍の起首となること、皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

謹んで新年のお慶びを申し上げます
東川町農業協同組合

会長	樽井 功	代表理事	組合長 牧 清隆	専任	事務担当 高 倉 直樹	信用	理事 参 樽 井 博行	理事	理事 参 金 卷 克己	理事	理事 参 馬 場 伸二	理事	理事 参 林 克政	理事	理事 参 森 山 守	理事	理事 参 片 山 孝司	理事	理事 参 岡 村 博信	理事	理事 参 米 田 保範	理事	理事 参 柏 倉 崇邦	理事	理事 参 高 橋 賢	理事	理事 参 林 義浩	理事	理事 参 林 道雄	理事	理事 参 林 道雄
----	------	------	----------	----	-------------	----	-------------	----	-------------	----	-------------	----	-----------	----	------------	----	-------------	----	-------------	----	-------------	----	-------------	----	------------	----	-----------	----	-----------	----	-----------

年頭のご挨拶

東川町稲作研究会
会長 板谷 智徳



新年、あけましておめでとうございます。

会員皆さまにおかれましては、2025年の良き新春をお迎えのことと心より喜び申し上げます。また、旧年中は稲作研究会事業に對しまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の水稲では、北海道の作況指数「103」、当上川管内においては「104」となりました。品質面では、7月～8月の高温による被害も懸念されたものの、昨年の課題を活かしたきめ細やかな水管理や適期収穫作業の徹底により、JA契約数量189,910.2俵に對し、集荷実績につきましては189,220俵（契約対比100.1%、JA出荷量の全体に占める1等米の割合が過去最高水準の92%と「質」「量」ともに大変充実した年となりました。これも一重に会員皆さまのご尽力の賜物と重ねて御礼申し上げます。

現在のコメを取り巻く環境は、市場の在庫過多や外食産業・インバウンド需要の大幅な低下から約3年間続いた相場の下落も解消され、5年産米の全国的な品質不良による収量低下やコメ需要の回復もあり、6年産米では市場の在庫不足から市中相場的大幅な上昇がみられました。そのような状況の中、全国各産地の概算金については昨年対

比約4000円～6000円程度の引き上げが図られ、本町においても昨年よりスタートした「高品質東川米生産運動（R6）（R8）」実践のもと、主要取引先との複数年契約を活かした相対取引や新たな精米事業による高収益化を見据え、JA独自の概算金が設定されました。東川町の米生産基盤を維持し、7年産米についても引き続きJAと連携のうえ、需要に即した用途別面積の作付を行っていきたくと考えておりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、昨年6月より「ひがしかわライスターミナル機能性精米工場」が竣工され、本格的な稼働が開始されました。本年より「ひがしかわライスターミナル（米穀乾燥調製貯蔵施設）」への糶出荷・運営が開始されますが、高品質米生産においては地域・個人差も大きくなるため、圃場段階で一層の高品質化を図っていくことが必要となり、高品位ロットの安定確保が実現できれば、精米販売による所得拡大にもつながることから、会員総意のもと、高品質東川米生産運動により高品質米生産基盤の強化を図り、農業所得安定確保に寄与する施設として稼働開始より会員皆さまのご利用をいただければ幸甚に存じます。

結びとなりますが、当研究会では皆さまの営農活動の一助となるべく、生産費高騰下における低コスト化やスマート農業の導入、高品質米生産技術の普及に向けた実証試験等を普及センター、関係機関のご指導ご協力を頂き、消費者・需要者に求められる産地として、安定した収量・品質の確保ならびに多岐にわたる有効的な情報発信に努めてまいります。引き続き会員皆さまからのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本年が実り多き年になりますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

東川町蔬菜園芸研究会
会長 松家 孝志



新年、明けましておめでとうございます。

会員皆様にはご家族お揃いで新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また旧年中は当研究会活動に格別なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、比較的に安定した天候に恵まれたものの、真夏日は平年を遙かに超える23日となりましたが、会員皆様は暑熱対策・乾燥対策により一部の品目を除いては安定出荷・継続出荷が図られておりました。また、本州の夏秋時期における猛暑の影響により全国的に出荷量が減少し、高値相場が長期間続き、10月以降もひがしかわサラダの引き合いが強い状況が続いております。高温の影響を受けながらも、安定した品質・物量と高単価により、販売実績は令和5年対比で116%となり、各市場担当者・量販バイヤーからは高く評価を受けた年になりました。会員皆様には、高温期での農作業・出荷作業に心より感謝申し上げます。

昨今、地球温暖化による異常気象の発生頻度が高くなることで、本州各産地での作型・品目変更等により昨年末での流通・相場に変化が生じていると感じております。各関係機関と連携し

ながら種苗から販売までの有益な情報を提供できるように迅速に取り進めていきます。また近年、生産資材等の高騰・人件費負担増により生産者の所得確保が厳しくなる中、再度生産効率を見直し、無理・無駄のない生産の構築、より効率的な集荷・販売の実践が不可欠となります。取引先各社には価格転嫁要請を継続するとともに、物量確保に向けた品目集約と販売集約による物流メリットを図ることも念頭に置きながら進めていきたいと思います。

また、昨年11月8日には当研究会創立50周年記念式典及び祝賀会を開催いたしました。歴代会長はじめ、取引先市場、各関係機関、会員皆様のご臨席を賜り、心より感謝とお礼を申し上げます。50年という歴史の重さと月日の長さを感じながらも、今日まで産地形成にご尽力頂きました諸先輩方をはじめとし、歴代役員皆様、会員皆様には敬意と感謝を申し上げます。今後、生産者減少により野菜生産振興は厳しい環境化になりますが、本年秋より「ひがしかわライスターミナル」稼働により、水稲秋作業省力化による野菜生産の拡大も協議していきます。今後、東川野菜生産が本町複合経営に安定と成長を図れるよう各関係機関と協議しながら進めていきます。

本年も会員皆様が野菜生産に取り組んでいただけるように研究会をはじめ各部会が組織強化を図るとともに各取引先と会員皆様のパイプ役となるように日々研鑽してまいります。今後も皆様には今まで以上のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。と同時に、本年も皆様にとって実り多き素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

JAひがしかわ青年部
部長 渡邊 慶昌



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては健康やかに新年を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

旧年中は部員並びに組合員ご家族様、JAひがしかわを始め各関係機関の皆様方に、日頃の青年部活動に對しましてご理解ご協力、ご助言を頂き誠にありがとうございました。5月の気温の乱高下や夏の高温に見舞われたものの、1年を通して農作物の生育及び収穫は良好な年となりました。また、ロシア・ウクライナ戦争や円安の影響による農薬・燃料・生産資材の高騰は未だ続き、また物流業界の2024年間問題等の新たな課題も浮上しております。8月には令和の米騒動と呼ばれる米価の急上昇が起り、一時的に量販店で米が買えなくなる等、農業を取り巻く環境は目まぐるしく変化を続けています。

青年部活動におきましては、ポストコロナの情勢を鑑み活動規模をコロナ禍以前のものまで戻した一方、全体会議では昨年度同様ZOOMを活用し、どこでも会議に参加することの環境づくりを継続しました。営農研究活動では高品質な東川米を安定して生産し続けるよう、肥培管理や農薬・肥料についての基礎知識の勉強を継続しつつ、生産費高騰に對し低コスト・省力化栽培技術の勉強を行いました。道内研修についてはクボタアグリフロンティアの杜、スカイテック(株)を視察いたしました。コンクリートビ

場、農作業・調理体験などが行える大型複合施設など、普段見ることのない農業の別側面を体感すると共に、一般の方の視点から見た農業とはどんなものかを考えさせられる視察研修となりました。昨年度復活したキャラバン隊活動では、本年度は旭川のコープさっぽろシーナ店にて販売促進を実施しました。コープ豊稜祭開催期間だったこともあり、多くの来場者と試食やアンケートを通じて交流することが出来ました。今年度稼働開始したひがしかわライスターミナル精米工場で精米しましたという言葉と応援メッセージをいただきました。東川農産物を買って下さる消費者の期待に応えるべく、今後も部員一同励んでまいります。

ふれあい祭りについては、昨年度の課題であった飲食ブースの拡充に着目し、チーズソーセージやつくね等の串もの販売を行いました。当日は天候にも恵まれたため来場者も多く、時間内に無事に完売することが出来ました。久々の青年部ブースでの調理作業で部員同士の交流も深まり、非常に有意義な時間となりました。昨年度より始まりました東川町商工会青年部との交流事業につきましては、本年度は神社祭で子供神輿を共に担いで町内を練り歩きました。神輿が非常に重く大変ではありましたが、商工会青年部と共に苦難を乗り越えたことで、また一歩親交を深めることが出来ました。今後もJAひがしかわ青年部、商工会青年部の事業へ互いに参加し合い協力することで、東川町と東川農業を盛り上げてまいります。

ひがしかわライススターミナルの精米工場稼働し、乾燥貯蔵施設も建設が開始されました。来年度にはいよいよひがしかわライスターミナルが完全始動となります。今後も諸先輩方が築き上げてきた東川農業を守り、更なる発展を目指すべく、各種事業を通じて部員同士の結束力を高め、東川農業の担い手であることとを自覚し活動していきたいと思っております。最後に申し上げますが、本年も諸先輩方、各関係機関皆様のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。部員各位、そして組合員皆様の今年一年のご健勝とご多幸を祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

JAひがしかわ女性部
部長 津谷 千代子



新年、あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては健康やかに新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は、女性部活動に對しまして多大なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、部員の皆様におかれましてもご多用の中、写真甲子園や産地交流会での食事の提供をはじめ、捨て布作りなどの福祉活動等、様々な事業にご協力いただきありがとうございます。

昨年JAひがしかわ女性部は創立70年という大きな節目を迎えました。11月15日には創立70周年記念式典を開催し、女性部活動を振り返りながら、今日のJAひがしかわ女性部があるのは、歴代の諸先輩方や部員皆様の努力の賜物であると感じました。

記念式典では料理人としてテレビ等のメディアなどで幅広く活動されている「下國 伸シェフ」を講師として招き、記念講演や東川農産物を使用した特別メニューの調理実演を行っていた

いただきました。祝賀会では下國シェフが調理した料理を提供いただき、美味しい料理に舌鼓を打ちながら「農産物の可能性」というものを改めて感じる貴重な機会となりました。今後農産物を通して多くの人に「食べることの楽しさや嬉しさ」を伝える地域に根差した「魅力あふれる食育活動」を展開し、JAひがしかわ女性部の更なる発展に向け、精進してまいりますので、組合員の皆様、東川町民の皆様には本年もご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

本年も皆様が健康で楽しく過ごせる素晴らしい一年になりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



農協・農事組合懇談会 意見と回答

日時：令和6年11月26日(火)

貴重なご意見ありがとうございました。今後の事業運営に反映させてまいります。

◎営農企画課

【意見】水田面積の維持・拡大には、新規参入者も必要となってくる。新規参入者の負担軽減策として、離農者の施設や機械類の賃貸等をJA主導にて就農環境の整備・支援をしたら良いのではないか。

【回答】全国でも後継者（継承者）不在による離農が深刻な問題となっております。新規参入者も含め、農業経営基盤強化準備金制度など経営所得安定対策交付金等も活用して、計画的に基盤強化対策（農用地・施設機械等の取得）を図る取り組みを東川町や農業委員会とも連携しながら支援してまいります。

◎米穀課

【意見】令和6年産米概算金は、農業経営が安定できる価格水準であり、全国と比較しても東川米価格は高く、これまでJAと生産者が共に歩んできた



努力の結果と想っている。また、他産地と比較してもJA出荷契約対比105%は高く、7年産以降も一元集荷に繋がる対策を講じてもらいたい。

【回答】JA集荷は大変厳しい環境下でしたが、生産者皆様のご理解とご協力により、主要取引先との複数年契約の継続や精米事業開始による東川米の安定供給に全力を注ぐことができました。今後も機能性精米工場を活用して、高付加価値・高価格販売化のもとJA出荷メリットを追求してまいります。

ポイントとなりますので、JAへの出荷結集をお願いいたします。

【意見】JA出荷者とJA以外への出荷者では、「ゆめぴりか」種子の配分量を変えても良いのではないか。

【回答】JA出荷の有無を基準とした種子の配分方法は、公正競争阻害性を有する取引に該当されます。しかし、正確な生産・品質実績等を証明できなければ、産地全体に不利益が生じることとなりますので、現行ルールの再点検と改善策を検討してまいります。

【意見】「ひがしかわライスターミナル」の初受入開始に向けて、個人の施設改修やフォークリフト導入などを検討している。利用者全員に対して利用法などの説明会を早期に開催していただきたい。

【回答】今後早急に、ライスターミナル利用説明会（利用推進部会）を開催し、具体的な運用方法や利用ルールについてご提案いたします。開催日程が決まり次第ご案内させていただきます。

【意見】「ひがしかわライスターミナ

善に努めてまいります。

【意見】本年の玄米センター運営では、予約数量以上の出荷があり、受入を中止した日があった。今後の対策を教えてください。

【回答】玄米センターの受入上限数は、日量300トンと設定していましたが、多い日には約1,000トンの出荷（仮置き）があり、調整作業や人員確保の都合上、受入を中止とさせていただきます。来季は「ひがしかわライスターミナル」が稼働されますので、施設受入数量の徹底や公平な利用環境を整備してまいります。

【意見】玄米センターの利用者が多かった為に出荷用フレコンが不足していたが、来年度に稼働する「ひがしかわライスターミナル」の鉄コンテナの数量を教えてください。また、出荷期間中に不足した場合のような対策を検討しているのか。

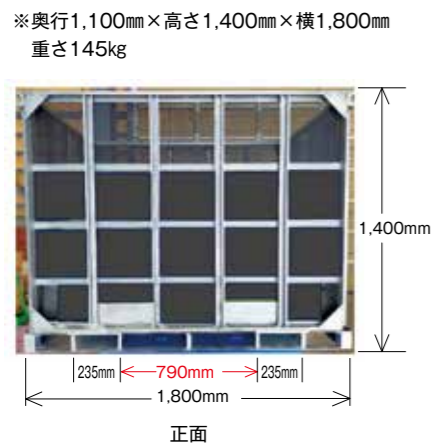
【回答】鉄コンテナは3,200基の導入を計

【意見】水稲作付面積の拡大に向けて、参考までに乾田直播栽培との単収比較などを教えてください。

【回答】乾田直播栽培は、スケールメリットが活かせる圃場では大幅な省力化と低コストに繋がる技術であり、道内では1.5ha以上の取組実績があります。収量や品質結果など管内実績が分かり次第、水稲生産者の皆様にお知らせいたします。

【意見】JA女性部の70周年記念式典の下園伸シエフによる東川産食材を用いた料理イベントは、大変好評だった。JA直売所設置構想では、こうしたレシピの活用なども検討したら良いのではないか。

【回答】来年度以降に「東川米」「ひがしかわサラダ」を中心とする直売所設置構想を計画していますが、その直売所内では東川産食材の調理品提供も検討していることから、今後の参考にさせていただきます。



ひがしかわライスターミナル専用鉄コンテナ規格

※奥行1,100mm×高さ1,400mm×横1,800mm 重さ145kg

画しており、現在、ライスターミナル利用推進部会では日量の受入上限数量を420基（粉換算600トン）に設定する案で協議検討がなされています。この場合、一週間分の鉄コンテナは十分確保されますので、今後は公平な貸出ルールなどを協議し、詳細が決まり次第ご案内させていただきます。

【意見】今年は「ゆめぴりか」のJA集荷率が低下したと思う。本町への種子配分量を増大させるために、生産者とJAが良食味米実績の確保や一元集荷対策などを苦勞して取り組んできた。JAに出荷しない方々にも令和7年産種子の取りまとめ時には、種子配分のルールなどを正確に伝え、改めて「東川米ゆめぴりか」としての出荷要請を行っていただきたい。

【回答】「ゆめぴりか」は、生産・栽培・出荷・品質までの厳しいルールを全道の生産者で取り決める「北海道米の新たなブランド形成協議会」にて、良質な「ゆめぴりか」を生産する産地に種子を傾斜配分するというルールが定められています。これからも安定的に「ゆめぴりか」作付面積を確保するためには、出荷実績や良食味米実績が

JA HIGASHIKAWA Topics

第31回JA北海道大会開催

11月20日(水)、札幌コンベンションセンターにて第31回JA北海道大会(実行委員長・樽井功JA道央会会長)が開催されました。

今回の大会では、食料安全保障の強化と農業所得の確立、農業分野における環境負荷低減への対応、人口減少局面下の人材の確保等、農業・JAを取り巻く環境や今後の展望を踏まえた議案が決議されました。

大会決議を通じ「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」の実現に向け、JAグループ北海道が一丸となって実践すべき事項について取り組んでまいります。



第73回全道JA青年部大会開催

12月5日(木)~6日(金)、札幌パークホテルにて第73回全道JA青年部大会が開催され、全道各地の青年部員が一堂に会しました。

大会では各地区を勝ち抜いた参加者による、青年の主張、活動実績発表、アームレスリング大会、純農Boyオーディション、そして「動画で発信!農の魅力」コンテストが行われ、青年の主張大会では、上川地区大会最優秀賞を獲得したJAひがしかわ青年部古田学さんが出場。農業にかける熱い思いを多くの聴衆に伝えました。

結果は惜しくもグランプリには届かなかったものの、上川地区代表としてご活躍いただきました。



東川大雪野球少年団 全国大会 出場激励会

東川大雪野球少年団の「全国選抜学童軟式野球大会(三重県12月25日~27日開催)」出場にあたり、12月2日(月)、JA本部事務所2階ホールにて激励会を開催しました。

牧組組合長より全国大会出場に向けて熱い応援メッセージと「応援幕」、「大雪旭岳湧水」が寄贈されました。団員たちはメンバー一人ひとりの名前が刻まれた「応援幕」を嬉しそうに眺め、「いい成績を残せるよう精一杯頑張ります!」と力強く決意を表明しました。

東川大雪野球少年団の更なる活躍を期待しております。



◎米穀課・青果課

【意見】ひがしかわライスターミナル 精米工場の稼動状況を教えてください。

【回答】本年6月に完成した機能性精米工場は、JA精米ブランド「最上級特撰東川米」「健康ひがしかわ米」として、道内外の生協・スーパーをはじめ、学校給食や医療機関、ふるさと納税の返礼品、海外実需先へ月間600トンの生産・供給体制を整え、お客様より好評をいただいております。

◎米穀課・青果課・購買指導課

【意見】資材や物流費の高騰対策として各種加算金が支払われているが、加算金なしの本体価格では、どの程度のコスト上昇分が反映されているのか。市況に左右されるのではなく、費用見合いの価格交渉については、JAから力強く提示していただきたい。

【回答】原油・原材料価格の高騰が続く中、生産資材や包装資材、運賃・人

件費など総合的なコスト上昇分は25%以上と想定し、価格転嫁の要請等を実施してきました。今後も「価格の見える化」のもと、利益(所得)最大化に資するよう取引交渉力を一層強化してまいります。

◎青果課・購買指導課

【意見】野菜づくりに興味を持つ青年部員は多くいるが、野菜栽培は高度な知識と技術が必要なことから、優良生産者が持つ専門的技術や経営ノウハウなどを提供できれば、今後の野菜振興の強化にも繋がると思う。

【回答】各作物部会の栽培講習会や現地青空教室では、基本技術の振り返りや専門技術の提供はもちろん優績者やベテラン部員が有するスキル・ノウハウの伝播も行っています。野菜づくりにご興味がありましたら、青果課までご連絡ください。

◎購買指導課

【意見】今年度の下ドローン防除の実績と今後の展望を教えてください。

【回答】本年は3名体制で水稲と野菜

(ブロッコリー・南瓜)の病害防除を計139ha実施いたしました。来季は、リモートセンシング技術を活用して、水田雑草に対するピンポイント散布試験を計画しています。作付面積拡大による農作業負担軽減に向け、今後オペレーターを増員し受託作業面積の拡大を図ります。

◎管理課

【意見】部門間にて業務対応を行ったことで、一部の職員負担が多くなっていることから、今後は人員配置の最適化を考えてほしい。

【意見】他部署業務への出役依頼が多くなり、青果課職員と連絡が取れない事がある。部署を超えて業務を行うのではなく、各部署ごとに適正な人員数を確保してほしい。

【意見】本年は、玄米センター作業の長期化と精米工場の稼働により、担当業務に関連する営農販売部・購買部職員にシフト体制のもと米穀業務を務めていただきました。今後は特定の職員に負荷がかからないよう配慮し、職員の働きやすい環境整備に引き続き努めてまいります。





新規入会記念粗品をリニューアルしました

『年金友の会』 会員募集中！

親睦旅行やパークゴルフ大会等、楽しい企画が盛りだくさん

年金友の会では『いきいきワクワク楽しい生活、みんな熟年代からの元気人』をモットーに活動をしています。会員皆さまの生きがいをづくりのため、年金友の会独自の活動を企画し実施いたします。

あわせて、農協事業の積極的利用も周知しながら友の会独自の企画もあわせて会員相互の親睦と新規会員の募集を継続してまいりますので、お気軽にご加入ください。

年金友の会会長 林 次男
ご入会要件

- ◆ JA ひがしかわで公的年金を受け取りされている方
- ◆ 年会費：お一人様 1,000 円

年金友の会会員様限定

1. JA ひがしかわの組合員の方、または加入を希望する方
2. JA ひがしかわ SS の生活用定期配送を利用している方、または利用を希望する方
(※電話での都度注文は定期配送ではありません。)
3. 灯油代金の引き落としを定期配送契約名義人の年金受取口座で自動引落を利用している方、または利用を希望する方

- <主な事業内容> 令和6年度
- ◇ 第1回パークゴルフ大会 7月9日(火) 18名参加
 - ◇ 第2回パークゴルフ大会 9月12日(木) 17名参加
 - ◇ 道内親睦旅行(札幌・恵庭方面) 10月16日(水) 27名参加

灯油定期配送
1ℓあたり
2円引き

詳しくは事務局金融課
(Tel82-5010) へ
お問い合わせください。

JA HIGASHIKAWA Topics

北農健保 健康企業宣言 認定

JAひがしかわでは活気ある職場は従業員の健康づくりからとして、有給休暇の取得促進や毎年の健康診断受診率100%などの取り組みを進めてまいりました。

この度、これまでの取り組みが評価され、北農健保より健康経営に積極的な事業所として「令和6年度健康優良事業所」に認定されました。

今後もより一層職員の健康づくり活動を推進し、働きがいのある職場に向けて取り組みを進めてまいります。



JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第6回「東野ひでき北海道後援会の活動経過」について

過去の参議院選挙(比例代表)での危機感を踏まえ、改めて組織選挙の意義を共有の上、候補者の認知度を高め、組織力の結集による運動を徹底することが大切です。

北海道後援会では、JA役職員、組合員、青年部・女性部盟友、各連合会・関係機関など東野ひでき氏の応援の輪を広げていくために、農政学習会等を通じて「なかまづくり運動」を展開してきました。

「ひできのなかまづくり運動」

「ひ」…ひとりでも多く! 「で」…できることから! 「き」…きょうから始めよう!

各々が、応援を依頼する「なかま」を確実に2名以上特定し、さらに、その「なかま」1名につき、新たに2名以上の「なかま」を特定し、「なかま」を広げていきましょう。

令和6年3月29日に東野ひでき北海道後援会を設立して以降、主に以下の取り組みを実施しております。

- JA総会・総代会にて東野の動画映写や組織結集に向けた決議等を実施。
- JA・連合会にて推薦手続きを完了。
- 道連常勤役員・地区会長他によるJA等巡回。
- 東野による全国連・全国機関、都府県連合会・JA等巡回を実施。
- 東野による道内各連合会、関係機関、取引先、JA等巡回(励ます会)を実施。
- 農政学習会の実施。
- 各種資料の活用。
(農政学習教材(資料・動画)、東野ひでき紹介動画、室内掲示用ポスター、リーフレット、運動推進ステッカー、名刺貼付用シールなど)
- JA広報誌での連載と北海道農政ジャーナルの発行。
- SNS(HP、LINE、Instagram、YouTube、Facebook)による活動報告。
- 青年部・女性部による東野ひでき親衛隊「動画大作戦」の実施。(毎月1回YouTube配信)



今後は、上記の取り組みに加え、屋外用政治活動用ポスターの掲示(野立て看板の設置)、東野出席のもと道内12地区の巡回等や、青年・女性組織の道・地区・単組段階での推薦手続き等を実施していきます。

農業・JAを取り巻く厳しい状況下において、JAグループ北海道の政策提案を実現し、組合員の営農と生活を守るためには政治力の強化が極めて重要であります。

農政学習運動等を通じて組織選挙の意義を共有し、引き続き「なかまづくり運動」を広げていきましょう!

【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年まで連載いたします。次回(第7回)は、「業界を代表する候補者を選ぶことの重要性」について報告します。

東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



早期発見、早期治療のために 人間ドックを受診しましょう!

ご家族、大切な方のために、そして何よりご自身のために受診をおすすめします。

■旭川厚生病院「人間ドック」予約状況

2025年2月							2025年3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1							1
2	3	4	5	6	7	8	2	3	4	5	6	7	8
×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×
9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15
×	○	×	○	×	○	○	×	○	×	○	×	○	○
16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22
×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	○
23	24	25	26	27	28		23	24	25	26	27	28	29
×	×	×	○	×	○		×	○	×	○	×	○	×
							30	31					
							×	○					

正組合員(本人・同居家族)
准組合員限定
人間ドック検診費用助成
厚生病院での一般受診料金
44,000円が
31,900円に!
※オプション検査は助成対象外

男性:月曜日・水曜日・金曜日、女性:火曜日・木曜日

予約表の見方:○10名以上の空き △残りわずか ×予約が埋まっています

お申込み順となるためご希望日が埋まっている場合もございます。

人間ドックの申し込みや、お問い合わせは営農指導課(Tel82-2124)まで

2025年 1月の予定

1 水	JA全業務休業
2 木	JA全業務休業
3 金	JA全業務休業
4 土	JA全業務休業
5 日	スタンド仕事始め 5の付く日(スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き)
6 月	JA事務所・アグリサポートセンター仕事始め
7 火	
8 水	
9 木	
10 金	HUCカード ポイント5倍
11 土	
12 日	
13 月	成人の日
14 火	
15 水	5の付く日(スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き)
16 木	
17 金	
18 土	
19 日	
20 月	HUCカード ポイント5倍
21 火	
22 水	
23 木	
24 金	
25 土	5の付く日(スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き)
26 日	
27 月	
28 火	
29 水	
30 木	決算棚卸のためアグリサポートセンター午後休業
31 金	決算棚卸のためスタンド・アグリサポートセンター休業

2025年 2月の予定

1 土	
2 日	
3 月	
4 火	
5 水	5の付く日(スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き)
6 木	

理事会の動き

第12回 理事会 日程：令和6年11月28日(木)

【議決事項】

- 議案 1号 8月末定例監査の回答について
- 議案 2号 10月末決算推定について
- 議案 3号 理事者の利益相反取引について
- 議案 4号 固定資産の処分について
- 議案 5号 労働組合からの年末手当の要求について

第13回 理事会 日程：令和6年12月20日(金)

【議決事項】

- 議案 1号 冬期合同農協懇談会の意見及び回答(案)について
- 議案 2号 寄付金の支出について
- 議案 3号 決算・減損会計に関するグルーピング方針について
- 議案 4号 公金手数料の設定について
- 議案 5号 信用事業方法書の変更について
- 議案 6号 農家経済対策について

お世話になりました 令和6年12月31日付退職

営農販売部
米穀課
後藤 早紀



この度、令和6年12月31日をもって東川町農業協同組合を退職させていただきました。

入組以来、組合員の皆さま、農協役職員の皆さまにはたくさんのご指導ご鞭撻をいただいたことに心から感謝申し上げます。

今後はこれまでに学んだことや経験を活かし成長できるように努めてまいります。

最後になりますが、東川町農協と組合員の皆さまの益々のご繁栄とご多幸を祈念し退職の挨拶とさせていただきます。

農協文庫 新刊



マフィン型でつくる
はじめての生米スイーツ



部屋で植物を育てたいのですが。

JAUがしかわ事務所前エントランスにて展示しておりますので、ぜひお立ち寄りください。

●葬儀・法要のご用命は…24時間フリーダイヤル

JA事業推進係 0120-82-2125へ